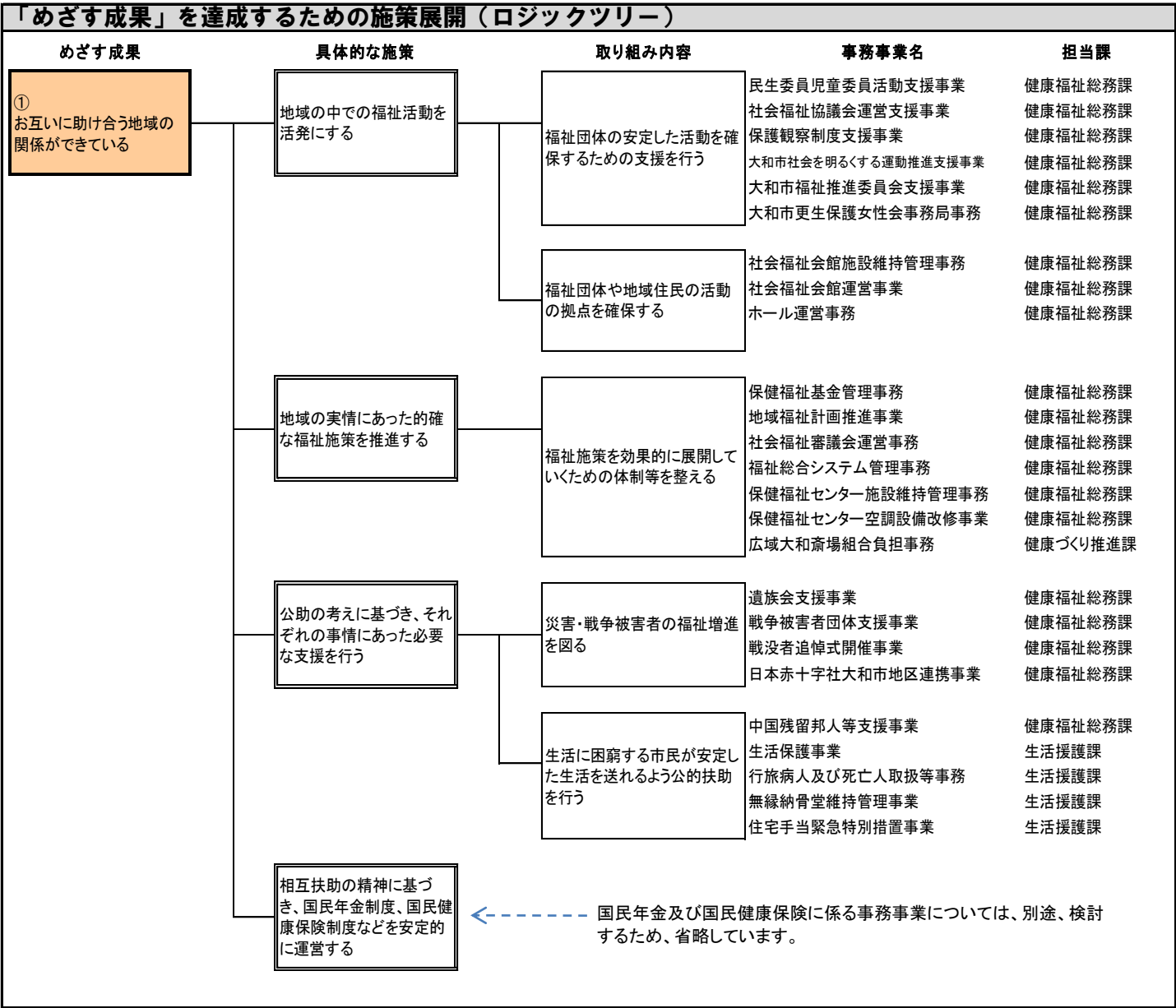


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
1－3－1 お互いに助け合う地域の関係ができています		
総合計画体系	健康領域・基本目標	人の健康・一人ひとりがいつまでも元気でいられるまち
	個別目標	支えあいによる地域福祉を推進する
	めざす成果	お互いに助け合う地域の関係ができています 日頃から、近隣の人たちのコミュニケーションがとれていて、困ったときにはお互いに助け合う関係ができています。



総合計画掲載指標①	
地域に支え合う人のつながり があると思う市民の割合	
計画策定時	36. 6%
実績値 (H21)	
中間目標値 (H23)	40. 0%
目標値 (H25)	43. 0%

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート	
主な取り組み内容	【地域の中で福祉活動を活発にする】 ・民生委員児童委員による個別支援活動を効果的なものとするため、新任研修のほか、任期別のグループワークを取り入れることなど、経験に応じた悩みや情報の共有を図り、市民の身近な相談役としての活動を安心して行えるよう研修の充実を図りました。 ・市社会福祉協議会の安定した地域福祉活動を支援するための運営費補助を行い、同協議会が主催、参加、協力する事業を1,201件（前年度1,161件）とし、地域福祉活動の活発化に努めました。
	【地域の実情にあった的確な福祉施策を推進する】 ・市、地区社協、民児協、自治連(自治会)などが互いに協力しあい、共助の力を高め、地域福祉の推進を図るため、「つながりが生みだす豊かな暮らし」を目指す地域福祉の姿として地域福祉計画を策定しました。 【公助の考えに基づき、それぞれの事情にあった必要な支援を行う】 ・生活に困窮する市民が安定した生活を送れるよう公的扶助を月平均で3,045人（前年度2,470人）に対して行い、最低限度の保障を行うとともに、自立を助長しました。 ・平成21年度より、就労意欲があるにもかかわらず、安定した住居の確保が困難な離職者（39件）に対して住宅費を支給し、求職活動の援助及び自立の手助けを行いました。

構成事業に対する考え方 （事業の量及び実施手法）	・民生委員児童委員への相談件数を増やすべく、地域にその存在を周知するとともに、民生委員児童委員の識見の向上をめざした研修を行います。 ・地域福祉計画においては、つながりを生み・育み・広げていくための「人材」「拠点・居場所」「情報」の充実を重点的に取り組むテーマとしています。そのため、市、地区社協、民児協、自治連(自治会)との連携を図りながら、なかでも「拠点・居場所」づくり等を通じて、人のつながりを広げていきます。 ・生活に困窮している者の程度に応じ、生活扶助、教育扶助、住宅扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、葬祭扶助の各種扶助について、現物及び金銭にて引き続き給付を行います。一方で、稼働能力のある被保護者に対し、就労支援を積極的に行い、自立を促進するとともに、扶助費の抑制を図ります。
-----------------------------	--

今後の展開方針		
注） 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。		
新規事業の立案		（該当する事務事業）
既存事業の拡充	・高齢化に伴う民生委員の対象世帯数の増加等に対応した定数の増加にあわせ、研修等による情報共有や資質向上の充実を図ります。 ・地域福祉計画における重要なテーマの「拠点・居場所」づくりに関し、地域の合意形成を図りながら、地域検討会を設置するなど地区福祉活動の推進に向けたモデル事業に取り組みます。また、高齢者の閉じこもりを防ぐための居場所づくりを支援します。	（該当する事務事業） 民生委員児童委員活動支援事業 地域福祉計画推進事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化		（該当する事務事業）
その他見直し		（該当する事務事業）

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	